

令和 3 年度
自己評価・学校関係者評価表

専門学校 ノアデザインカレッジ

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

入学時のオリエンテーションや学校案内などで教育理念や目標を伝えるとともに「好き」を将来につなげる。という明確なコンセプトのもと教職員・学生に周知している。また、アドミッションポリシーやディプロマポリシー、カリキュラムも学内で明示している。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

個別、各個人の能力を個々に伸ばしている等、門外を通じて社会に必要な社会性や協調性を伸ばした教育活動をしていく。
 教育理念・目標が明確に示されており。
 今後も引き続き丁寧に教育理念・目標に沿った教育活動を続けていく必要がある。
 デジタルだけではなくアナログ表現への大事さや自然界から学ぶことのできるデザインの原点も大切にして教育をしていく

2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④ 3 2 1
・テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1
・シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1
・授業の点検・評価が適切に実施されているか	④ 3 2 1
・資格試験の合格率は	④ 3 2 1
・資格試験不合格者の対策は	④ 3 2 1
・評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1
・外部企業との連携により実践的教育活動は行われているか	④ 3 2 1
・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	④ 3 2 1
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

年々、学生の人数が増加しているので学生のフォロー体制や教科・学習内容など適宜見直しながら講師の先生方との連携していく必要がある。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

教職員での教科ごとの連携をはかり各分野の授業をさらに強化していく必要がある、その中でもコミュニケーション力や失敗を恐れない力など学校関係者評価委員の皆さまよりアドバイスをいただいた内容をもとに教育活動に反映していきたい。
また、産学連携を通して実践型授業により社会と学校との差や対応力を身につけられるよう教育的思想を明確にしていく。

3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	④ 3 2 1
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	④ 3 2 1
・募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	④ 3 2 1
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1
・志願者状況、定員充足率はどうか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

今年度も定員を満了することができた為次年度も引き続き丁寧な募集活動を心がけたい。
 広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切である。入学案内には志願者が必要な情報が掲載されておりWEBなどを使用いつでも資料請求が出来る状況である。説明会・体験会なども随時開催することで興味のある学生に対して説明できている。SNSなど活用し募集受入れを強化している。近年は県外より入学を希望し実際に入学する生徒も増えている。
 オンラインを活用した説明会など増やして次年度も定員の充足をはかりたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

・本校の教育理念をよく理解していただけるよう募集担当者は丁寧に今後も募集活動をしていく。
 ・本当に学生に満足いただける為には、学校の特徴を理解していただく必要がある。無理やり募集の為に学生を受け入れるのではなく必要であれば他校の見学も進め良く理解していただき納得した上で入学を検討いただけるよう体験見学やオープンキャンパス、個別面談も含め対応していきたいと考えている。

4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1
・専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	④ 3 2 1
・教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4 ③ 2 1
・教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 ③ 2 1
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4 ③ 2 1

【成果と課題について】

教職員の能力や業務内容を定期的に把握するようしており時代の変化に合わせて適宜調整をしている。
講師も第一線で活躍する講師を各、授業に配置し業務が滞りなく遂行できる人数を雇用できている。
学生数が増えてきたこともあり、職員の業務が滞りぎみになっていると思われるため、今後職員の補充も考えたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

昨年より専任教員を増やし対応しているが学生の人数が増えているのでさらに教職員を増やして職員の負担を軽減し学生にも教育がしっかりいきわたるよう検討する必要がある。
専門教育として個々の教員が専門スキルをさらに上げて資質向上をはかりたい。

5. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習設備は整備されているか	④ 3 2 1
・講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1
・学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1
・職員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

新型コロナウイルス感染症対策を意識しオンライン授業などできる環境を整備して、緊急事態宣言以降での対面授業でも分散授業をネットワークを利用して教室を分けて実施するなど教育活動を滞りなくすることができた。ICT専用のPCを用意するなどデジタルやデザイン実習に必要なPCを購入して整備した。各階のトイレなどを徐々に改修しており、学生使用環境に配慮している。各、講義室や実習室は学習をする上で問題なく完備されており、一人ひとり専用のパソコンやソフトウェアを貸与しており最新のバージョンの実習教材を学生に提供している。放課後や長期休暇期間も学生に開放している。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

定期的に教育環境を見直して学生が使用する環境の改善をはかりたい。

6. 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1
・各学校行事について適切に実施されているか	④ 3 2 1
・防災訓練・防犯の実施は行っているか	④ 3 2 1
・進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1
・健康診断など学生の健康管理を行っているか	④ 3 2 1
・保護者との連携はできているか	④ 3 2 1
・新たな求人開拓の努力はしているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

就職活動では個別に就職活動を支援しており、専門の教員と専任の就職担当者が個別にサポートすることに専門職の内定率を上げるよう体制を整えている。保護者やご家族様も含めた三者面談、四者面談など実施している。少人数制による授業システムで学生相談も定期的の実施され学生を支援している。求人では第一線のクリエイティブな企業と連携し学生が内定をいただくなど産学連携をベースに求人開拓をしている。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

クリエイティブ系の求人が県内で少ない為、今後、求人の開拓など定期的に行っていきたい。さらに現状お付き合いのある企業関係者と連携を深め学生を支援していきたい。

7. 管理・運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1
・理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1
・就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4 ③ 2 1
・組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1
・消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1
・セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4 ③ 2 1
・財務分析比率は適切な数字になっているか	④ 3 2 1
・学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

財務情報等の公開をホームページで行っている。
諸規定等については、現在の実情に合っていないところもあると思われるので、見直していきたい。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

財務情報等の公開をホームページで行っている。
諸規定はあるが、定期的に見直しをしていないものもあるので現在の実情に合っていないところもあると思われる。

学校関係者評価委員会議事録

会議名	オンライン学校関係者委員会
開催日時	令和4年6月22日(水)10:00~14:00
場 所	専門学校ノアデザインカレッジ 会議室 (オンライン ZOOM にて)
出席者	<p>出席者：学校関係者評価委員会</p> <p>委員長 青山 達弘 【株式会社 青山建材工業 代表取締役】 委員長 池田 達哉 【特別養護老人ホームこもれび 施設長】 委員長 宮田 博文 【有限会社ミヤタ印刷 専務取締役】</p> <p>(計3名)</p> <p>専門学校ノアデザインカレッジ教職員</p> <p>教職員 藤江 通昌 【理事長】 教職員 白瀧 真之 【専門コース長】 教職員 西子 清英 【専任教員・就職進路担当】</p> <p>(計3名)</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計6名)</p>
議題等	<p>1 委員会開催概要説明 白瀧</p> <p>2 学校長挨拶及び学校関係者評価内容の確認 藤江学校長</p> <p>3 評価現状と改善について 各委員長より</p> <p>4 意見交換</p> <p>説明についての質疑応答、評価実施に関することや今後の進め方など</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

別紙 学校評価にて概要記述